

# 2006年度ジュニアリーグ

優勝 Cチーム 12勝 1敗

監督 数 見 貞 男 主将 関 敬 一

伊 藤 住 夫	野 内 直 己	弦 間 好 文
佐 藤 智 德	金 丸 和 彦	古 川 勝 支
中 村 康 夫	釣 部 義 之	本 間 健 二
川 島 大	伊 藤 進	鍋 倉 敏

## ◎公式戦記録第33期勝敗表

●ジュニアリーグ 全日程修了 (第14戦まで) \*引分試合は、0.5勝、0.5敗で勝率計算

順	チーム	C	A	B	D	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率
1	C	***	○○●○	○○○△○	○○○○○	12	1	1	0.893	134	27	.318	1.40
2	A	●●○●	***	○○●●●	●●○○○	6	8	0	0.429	74	75	.241	4.22
3	B	●●●△●	●●○○○	***	●●○○	5	8	1	0.393	71	100	.227	5.76
4	D	●●●●●	○○●●●	○○●●	***	4	10	0	0.286	65	142	.221	8.05

## 【優勝監督コメント】

今年のCチームは素晴らしい選手が揃いました。

1番・広い守備範囲と固め打ちの川島選手、2番・攻撃野球の大型新人、伊藤選手、3番・内野の要で広角な打撃は釣部選手、4番・主将でチームの要、関選手、5番・最多勝、防御率、打撃は5割の野内選手、6番・初めての捕手に挑戦、良く頑張りタイムリーなバッティング鍋倉選手、7番・確実な打撃は打点王、中村選手、8番・ファイターで捕手のストッパー金丸選手、9番・デットボールでも出塁、本間選手、10番・時々ファインプレーの弦間選手、11番・前進守備でバッターにプレッシャーかける伊藤住夫選手、12番・速いスイングと足で3割、古川選手、13番・何処でも守れる佐藤選手、14番・足手まといに成らない守備の数見選手、以上のオーダーでの戦績は12勝1敗1分と全選手が頑張ったおかげで監督として初優勝そして胴上げ、最高でした。(来年もコメッツ野球を楽しもう)

### 投手部門タイトル

☆ 最多勝利投手	野内 直己 (C)	11勝1敗
☆ 最優秀防御率	野内 直己 (C)	1.61
☆ 勝率1位	野内 直己 (C)	11勝1敗 .917
☆ 最多奪三振	野内 直己 (C)	53個
☆ 最多完封試合	野内 直己 (C)	3試合
☆ 最多無四球試合	野内 直己 (C)	2試合
☆ ノーヒット・ノーラン賞	野内 直己 (C)	8月20日対JA 2四球8奪三振 14年ぶり3人目

## 2006 年度投手成績表

順位	チーム	背番号	氏名	登板数	防御率	投球回	打者数	被安打	被本塁打	奪三振	与四球	ボーグ	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	C	11	野内 直己	13	1.61	74	314	58	0	53	21	0	27	17	10	2	3	11	1
2	B	24	豊田 記剛	9	3.62	29	142	26	0	15	25	1	24	15	4	0	0	3	2
3	A	36	高橋 敬三	8	4.24	36 1/3	168	35	0	14	20	1	32	22	3	0	0	2	1
4	D	28	島本 保弘	12	7.68	58 1/3	342	91	1	19	57	0	99	64	5	0	0	4	7
5	B	91	中村 勝浩	8	7.71	36 1/3	219	33	0	13	68	0	58	40	4	0	0	1	5

規定投球回未満

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁打	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
	8	小澤 浩	0.00	1	2/3	5	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
	14	関 敬一	0.00	3	6	22	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0
	64	釣部 義之	0.00	1	1	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	53	金丸 和彦	0.00	1	2	8	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	83	伊藤 進	0.00	1	2	7	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0
	40	柳沢 誠	1.17	2	12	53	5	0	5	7	2	2	1	0	1	1	1
	25	名雪 順一	4.31	4	13	64	14	1	4	8	10	8	1	0	0	0	2
	30	小柴 幸夫	5.27	2	9 1/3	52	17	0	4	3	16	7	1	0	0	1	1
	75	手嶋 信夫	5.71	8	23 1/3	128	23	0	10	33	31	19	1	0	0	3	4
	38	渡辺 憲司	6.75	6	16 2/3	101	23	1	13	26	28	16	2	0	0	0	3
	62	上野 正二	13.61	4	3 2/3	22	4	0	3	6	7	7	0	1	0	0	0
	73	野坂 英昭	26.92	1	1 1/3	15	5	0	2	5	8	5	0	0	0	0	0

### 捕手部門タイトル

☆ 最多阻止数 豊田 記剛 (B) 7個

☆ 最多阻止率 豊田 記剛 (B) . 250

### 打撃部門タイトル

☆ 首位打者 野内 直己 (C) 0. 522

2 位 中村 康夫 (C) 0. 467

3 位 金丸 和彦 (C) 0. 433

3 位 中村 勝浩 (B) 0. 433

5 位 数見 貞男 (C) 0. 421

☆ 本塁打王 中村 勝浩 (B) 2本

☆ 打点王 中村 康夫 (C) 18点

☆ 得点王 野内 直己 (C) 18点

☆ 最高出塁率 野内 直己 (C) 0. 684

☆ 盗塁王 安見 信二 (B) 22個

☆ 四死球王 野内 直己 (C) 14個

☆ 新人王 中村 勝浩 (B)

## 2006 年度打擊成績表

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打數	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	11	野内 直己	14	0.522	38	23	18	12	5	0	0	10	14	11	2	1	0	17	0.739	0.684
2	55	中村 康夫	13	0.467	34	30	10	14	5	2	0	18	4	5	1	0	0	23	0.767	0.529
3	91	中村 勝浩	12	0.433	31	30	7	13	2	0	2	17	1	6	1	0	0	21	0.700	0.452
4	53	金丸 和彦	13	0.433	35	30	2	13	4	0	0	5	5	6	0	0	0	17	0.567	0.514
5	90	数見 貞男	14	0.421	31	19	13	8	4	1	0	7	11	13	1	1	0	14	0.737	0.613
6	75	手嶋 信夫	14	0.417	41	36	7	15	4	2	0	7	5	4	2	0	0	23	0.639	0.488
7	83	伊藤 進	13	0.382	41	34	16	13	3	3	1	14	5	12	2	2	0	25	0.735	0.439
8	98	安見 信二	12	0.379	33	29	9	11	1	0	0	3	4	23	2	0	0	12	0.414	0.455
9	28	島本 保弘	12	0.364	33	22	8	8	3	0	0	9	11	4	4	0	0	11	0.500	0.576
10	64	釣部 義之	13	0.357	38	28	15	10	4	0	0	6	10	14	2	0	0	14	0.500	0.526
11	24	豊田 記剛	13	0.346	28	26	11	9	3	2	0	6	2	8	3	0	1	16	0.615	0.429
12	58	古川 勝支	11	0.333	28	21	10	7	5	1	0	8	7	9	2	0	0	14	0.667	0.500
12	19	長尾 善弘	12	0.333	34	30	5	10	3	0	0	8	4	10	2	0	0	13	0.433	0.412
12	38	渡辺 慶司	10	0.333	29	27	7	9	4	3	0	6	2	3	2	0	0	19	0.704	0.379
15	23	田村 陽平	12	0.321	36	28	9	9	3	0	0	6	7	17	4	1	0	12	0.429	0.444
16	25	名雪 順一	11	0.318	27	22	7	7	1	1	0	6	5	2	1	0	0	10	0.455	0.444
17	61	川島 大	12	0.310	38	29	11	9	0	2	0	7	9	12	1	0	0	13	0.448	0.474
18	41	金田 不二雄	14	0.290	38	31	8	9	2	0	0	5	6	7	6	1	0	11	0.355	0.395
18	43	鍋倉 敏	14	0.290	37	31	12	9	1	1	0	8	6	10	3	0	0	12	0.387	0.405
20	22	水野 幸雄	13	0.286	33	28	8	8	2	0	0	7	5	7	5	0	0	10	0.357	0.394
21	77	大畠 敏祐	12	0.273	29	22	5	6	0	0	0	5	7	5	0	0	0	6	0.273	0.448
22	14	関 敬一	14	0.265	42	34	11	9	1	0	0	5	8	5	6	0	0	10	0.294	0.405
23	40	柳沢 誠	14	0.257	42	35	8	9	4	0	0	9	6	12	2	1	0	13	0.371	0.357
24	36	高橋 敬三	14	0.233	42	30	7	7	0	0	0	5	10	3	2	2	0	7	0.233	0.405
24	73	野坂 英昭	13	0.233	37	30	9	7	2	0	0	8	7	7	2	0	0	9	0.300	0.378
26	67	本間 健二	14	0.231	35	26	6	6	1	0	0	6	9	6	4	0	0	7	0.269	0.429
27	4	片桐 広景	12	0.222	32	27	7	6	0	0	1	5	4	1	6	1	0	9	0.333	0.313
28	9	増田 讓	11	0.217	28	23	2	5	0	0	0	3	5	4	2	0	0	5	0.217	0.357
29	1	伊藤 住夫	12	0.208	31	24	7	5	1	0	0	4	7	9	2	0	0	6	0.250	0.387
30	26	近藤 福仁	13	0.200	29	25	3	5	1	0	0	3	4	3	3	0	0	6	0.240	0.310
31	10	本多 良行	13	0.182	36	33	6	6	3	0	0	5	2	4	3	1	0	9	0.273	0.222
32	29	星野 一美	14	0.179	42	28	10	5	0	0	0	0	13	9	4	1	0	5	0.179	0.429
33	69	栗原 恒男	13	0.167	36	30	10	5	2	0	0	1	6	2	2	0	0	7	0.233	0.306
33	62	上野 正二	12	0.167	28	18	4	3	0	0	0	2	10	1	5	0	0	3	0.167	0.464
35	66	高崎 宗明	11	0.143	25	21	3	3	1	0	0	3	4	0	4	0	0	4	0.190	0.280
36	20	木村 豊行	14	0.138	37	29	7	4	1	0	0	3	8	13	8	0	0	5	0.172	0.324
37	30	小柴 幸夫	11	0.125	26	24	3	3	1	0	0	2	2	2	2	0	0	4	0.167	0.192
38	17	増田 香	12	0.120	31	25	3	3	0	0	0	0	6	5	11	0	0	3	0.120	0.290
39	2	杉田 昭一	12	0.095	27	21	1	2	0	0	0	1	6	1	2	0	0	2	0.095	0.296
40	59	下平 義郎	11	0.087	26	23	2	2	0	0	0	1	3	1	2	0	0	2	0.087	0.192
41	44	三好 義信	10	0.083	29	24	5	2	1	0	0	1	5	3	5	0	0	3	0.125	0.241
42	52	山田 一夫	11	0.059	22	17	3	1	0	0	0	1	4	0	3	1	0	1	0.059	0.227
43	32	瀧 敏夫	13	0.043	29	23	2	1	0	0	0	3	6	0	6	0	0	1	0.043	0.241
44	72	弦間 好文	13	0.036	33	28	3	1	0	0	0	5	5	2	5	0	0	1	0.036	0.182

規定打席数未満

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
	12	前崎 義博	7	0.438	16	16	4	7	2	1	0	2	0	3	1	0	0	11	0.688	0.438
	63	戸村 真二	9	0.409	22	22	4	9	1	0	0	10	0	5	3	0	0	10	0.455	0.409
	84	水上 芳範	10	0.190	23	21	2	4	2	0	0	2	2	2	2	0	0	6	0.286	0.261
	94	鈴木 英昭	10	0.176	22	17	1	3	2	0	0	3	5	3	2	0	0	5	0.294	0.364
	8	小澤 浩	10	0.150	27	20	6	3	1	0	0	4	7	4	4	0	0	4	0.200	0.370
	33	梅原 義信	6	0.091	13	11	3	1	0	0	0	1	2	2	2	0	0	1	0.091	0.231
	47	伊藤 信一	10	0.050	21	20	1	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0.050	0.095
	50	佐藤 智徳	4	0.000	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.000	0.000
	48	大島 信夫	8	0.000	16	15	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	1	0	0.000	0.125

## 2006年を振り返って

### 【事務局長 河下浩信】

今年は、2リーグ制の元年でしたが、シニア、ジュニアの両リーグともCチームの優勝で終わりました。 まずは両チームの皆さん優勝おめでとうございます！

シニア Cはシーズンの初め、「故障者が多くて大変だ」と大内監督がこぼしていましたが、シーズン中に立て直ってきて、見事栄冠を勝ち得たのは立派だと思います。 ジュニア Cは当初、戦力均衡を目的としたドラフトの結果出来たチームでしたが、結果は、ブッち切りの優勝となっていました。

これは、佐川大明神がついていたからか、今年入った新人のツブが揃っていたからか、はたまた、野内投手が年間を通じて好調だったからか、いずれにしても、それらの要因の相乗効果でしょう。なにしろ、数見監督がライトでラストバッターを打っても勝つのだから、非常に強かったのでしょう。

個人成績争いでは、シニアの首位打者争いがみものだった。

Dチームの小林、長浜の両選手が、同率(0.500)で最終戦を迎えた。

最終戦は、長浜が3-3、小林が3-1で、今年の新人の長浜選手が、見事ベテランの小林選手の野望を打ち碎いた。来期の小林選手のリベンジを期待したいものです。

以上私の見聞きした範囲で、振り返ってみました。

恐らく、皆さんも各人各様の思いでシーズンを送られたことと思います。

何はともあれ、今年1年野球を楽しんで、無事、年の暮れを迎えられたことを素直に喜びましょう。

来年は新しい仲間とチームを組みます。

野球の神様が、気まぐれに作った新チームで、各人がそれなりに努力したり、工夫したりして勝負を争うことになります。また来年も楽しくやりましょう！

さて、来年は2リーグ制の2年目です。次のとおり変更します。

- 1、会員総数を年齢で2分し、2リーグを編成する。
- 2、シニア、ジュニア間の助っ人制は廃止する。(リーグ内でまかなう)
- 3、会員による審判(=墨審)の当番制をやめる。
- 4、使用球を新球に変える。(シニアは新球のB号、ジュニアは新球のA号)

このほかに課題として、東京コメッツを代表する還暦チーム(東還連の8部リーグ所属)の強化に取り組みたいと思います。

会員の皆様には、コメッツの更なる発展のために、引き続き、新入会員の勧誘にご協力を願います。

最後に今年1年間のご協力に感謝します。

ご家族ともども、良いお年をお迎えください。

以上